

学生新聞

放送大学
埼玉学習センター
埼玉CSC交流会
学生新聞
編集委員会
〒330-0853
さいたま市大宮区
錦町682-2
TEL048-650-2611

今年度の埼玉CSC交流会スタート

第9回フェスタは10月10・11日

嶋崎洋明代表が3期目留任

平成27年度の埼玉CSC交流会役員会が4月25日開催され、前年度の役員や各サークルの代表者などが集まった。

この会議では平成26年度CSC交流会の決算報告・監査報告の他、第8回埼玉フェスタの収支が報告された。同時に、新年度役員選出や今後の会議日程などの協議が行われた。

新役員選出

新年度の役員選出では、代表に嶋崎洋明（未来の会）が3期目の留任を引き受けた。また、副代表に武内英則（放送大学埼玉同窓会）・高山和彦（放送大学熟年会）・篠田安彦（江戸時代の古文書を読む会）、中野栄治（放送大学ソシアルダンスクラブ）、会計に松井喜義（健康体操研究会）、赤木美恵子（バランス体操 悠悠）、会計監査に相川智子（朗読の会「こころ」）が、それぞれ選出された。

卒業研究発表会

前年度に非常な盛り上がりを見て好評だった卒業研究と修士研究の「研究発表会」については、

学習相談を行います

学習の方法、進め方、卒業研究、大学院進学など、修学上の諸問題について、当センターの客員教員が相談に応じます。希望者は、事務室に備えてある「学習相談申込票」に記入のうえ、お申し込みください。

通信指導の提出期限は、

平成27年度2学期（10月入学）の学生募集が始まります。出願期間は、第1回が6月15日（月）から8月31日（月）まで。第2回が9月1日（火）から9月20日（日）までです。知人・友人等をご紹介ください。紹介された方が入学した場合、薄謝を進呈いたします。

埼玉CSC交流会の事業

「埼玉CSC交流会の事業」として、

埼玉CSC交流会の開催

「第9回埼玉フェスタ」の開催も10月10日（土）11日（日）と決定しました。

卒業研究発表会

平成26年度は、フェスタの収支報告と26年度の収支決算報告及び会計監査を実施しました。これらの報告及び会計監査の結果を4月25日の役員会で、承認を頂きました。

埼玉CSC交流会の収支決算報告及び会計監査報告

平成26年度は、フェスタの収支報告と26年度の収支決算報告及び会計監査を実施しました。これらの報告及び会計監査の結果を4月25日の役員会で、承認を頂きました。

埼玉CSC交流会の事業

「埼玉CSC交流会の事業」として、

埼玉CSC交流会の開催

「第9回埼玉フェスタ」の開催も10月10日（土）11日（日）と決定しました。

面接授業の追加登録
空席ある授業を発表

面接授業の定員に余裕があれば、追加登録することが出来ます。掲示およびシステムWAKABAで空席状況を確認の上申し込みください。申し込み期限は原則として、最初の授業の1週間前までとなっています。

通信指導の提出期限は、平成27年6月8日（月）本必着です。通信指導を提出しないと、単位認定試験が受けられませんのでご注意ください。

期限を忘れずに
通信指導の提出期限は、平成27年6月8日（月）本必着です。通信指導を提出しないと、単位認定試験が受けられませんのでご注意ください。

埼玉学習センター
公開講演会を開催
6月7日

①6月21日（日）
14時～16時
演題「シェイクスピアの魅力」
講師 嶋崎洋明

②7月5日（日）
14時～16時
演題「心理学と人間」
講師 馬場久志先生
場所 8階講堂

事務室からのお知らせ 5月～6月のサロン

申し込みはいつでも埼玉学習センターの窓口またはお電話で

ティータイム
科学談話会
「酸と塩基」
コディネーター：永澤 明
6月14日（日）
14:30～17:00
8階講堂A

サロンあんどろ
「ロンドンの鉄道事情」
～駅めぐりから
見えてくるもの～
6月9日（火）
14:30～15:30
第2講義室 先着順40名

サロンたかの
～心のオアシス～
5月23日（土）
14:30～17:00
第1講義室
先着30名

埼玉CSC交流会
新メンバーを紹介

埼玉学習センターにおいて、左記の方々4月1日に着任されました。

所長 嶋崎洋明
事務局長 渡邊賢治
総務係員 福永陽子
図書室係員 野村節子

埼玉CSC交流会
埼玉CSC交流会は学習センターを楽しく活気ある学びの場とする事を目的として、学生サークル、同窓会、学習センターの三者により結成された団体です。

「花紀行」
笹原誠二

・3月31日。「日本校名所100選」に選定されている、自宅から徒歩20分の野田市の清水公園に、今年も夫婦で花見に出かけた。近くのショッピングセンターで豪華な(?)寿司折と少しのアルコール、お茶を買い込み、東京ドーム6個分の敷地の広さの庭園と約2000本の満開の桜の下で、芝生にシートを敷いて、ゆっくりと春の午後を満喫した。

園内は家族づれや二人づれが各々、弁当やお菓子を広げて、のんびりとひと時を楽しんでいる。子供たちの歓声やふたりの楽しげな語り合いが周りの風景に溶け合っており、和やかな雰囲気を感じさせていた。

・4月1日。浅草演芸場で出し物を楽しんだ後、浅草寺と隅田川河畔で満開の桜を鑑賞。人出の多さに戸惑いながら早めに夕食をとり、帰宅した。

・4月2日。放送大学のサークルの仲間12名で、駒込の六義園と王子の飛鳥山公園の桜を鑑賞。六義園名物の枝垂桜は残念ながら散り始めていたが、飛鳥山公園の桜は、今を盛りの満開で、持参した弁当を広げながらビールで乾杯。まさに、「両手に花と酒」の状態で一日を楽しんだ。

・4月3日。自宅の周りを散歩。近くの小学校や公園の数種類の桜や、家々の紅白に咲き分けて咲く花桃を6箇所あまり楽しんだ後、我が家の7種類の花と水仙、ユキヤナギ、ハナズオウ、黄梅、山吹の花々を見て雨の一日を過ごした。



「人間とは何か」を共に学びましょう

埼玉学習センター所長 嶋崎洋明

埼玉学習センターに集う学生の方々は、今日よりよく学びたいという思いで、この4月から、所長に就任しました嶋崎洋明（しげや・はるよし）と申します。学習センターで皆様にお会いする時は、「お早うございます」「今日は」等々とお声掛けさせていただきます。

自己紹介をさせていただきます。年齢は1948年（昭和23年）生まれの66歳です。1982年からこの3月までの33年間、埼玉大学教育学部で教員養成の仕事に携わって参りました。ですので、かつての私のゼミ生で、現在、埼玉、東京、秋田、長野などの小・中・高等学校に教師として勤めている者が、約200人います。

他方、私の専門研究領域は、倫理学・哲学・総合人間学です。長年、主にドイツの哲学者カントを研究対象としてきました。他に、親鸞、道元、Fair、Is Foull, and Foull is Fair.」を座右の銘としています。

皆様と共に、この、魔法の語る真理を一つの手がかりにしながら、埼玉学習センターを学びのフォーラム（広場）として、さまざまな角度から「人間とは何か」を学んでいければいいな、と願っています。

日程や発表者、開催要領等について学習センターで十分な検討を行い、CSC交流会・同窓会とも協力して開催することを決定した。

新役員選出
新年度の役員選出では、代表に嶋崎洋明（未来の会）が3期目の留任を引き受けた。また、副代表に武内英則（放送大学埼玉同窓会）・高山和彦（放送大学熟年会）・篠田安彦（江戸時代の古文書を読む会）、中野栄治（放送大学ソシアルダンスクラブ）、会計に松井喜義（健康体操研究会）、赤木美恵子（バランス体操 悠悠）、会計監査に相川智子（朗読の会「こころ」）が、それぞれ選出された。

事務局長は、事務局に野呂生男（サークルおみや）、事務委員は田

投稿コーナー



西院伽藍 (左) と東院伽藍 (右)

「法隆寺地域の仏教建造物群」は、法隆寺に属する47棟と法起寺の三重の塔1棟の建造物群で構成されている。この二寺はいずれも聖徳太子ゆかりの寺院であり、仏教と共に日本に伝来した建築様式が、日本独自の建築に取り入れられた顕著な例といえる。

法隆寺は、西院と東院からなり、西院は東に金堂、西に五重塔が並び、この伽藍配置を「法隆寺式伽藍配置」と言う。創建当時は金堂を北に、五重塔を南に配置する「四天王寺式伽藍配置」とされている。西院伽藍では金堂の再建が一番早く711年ごろとされ、その後に五重塔・中門など西院全体が再建された。西院の構造・意匠、金堂内部の釈迦三尊のアルカイックスマイルなどに北魏時代(6世紀)の影響を受けたと考えられる。

釈迦三尊像は、渡来人の鞍作止利(くらづくりとり)の作で、日本最初の仏像とされる。東院は、夢殿など聖徳太子没後の739年、太子の住居跡に建立された上宮王院(じょうぐうおういん)がもとになっている。夢殿は最古の八面円堂で、本尊の救世観音立像は聖徳太子と等身とされる。当該立像は、白布に覆われ明治時代までその姿を拝むことはできなかったが、明治政府の命を受けた岡倉天心・フエノロサによる近畿地方の古社寺宝物調査の際、白布を取り去り、その姿を現した。

法起寺は、法隆寺の北東約1.5kmに位置する聖徳宗の寺院であり、境内には創建当時から残る唯一の建造物高さ24mの「三重の塔」がある。

世界遺産・法隆寺

荒川良雄

1993年、「法隆寺」及び「姫路城」は、日本最初の世界遺産として登録された。1978年アーヘン大聖堂(ドイツ連邦共和国)以下12件が世界最初の世界遺産として登録されてから、37年経過していた。今回は法隆寺についてのべる。これを世界遺産特有の表現をすると、「法隆寺地域の仏教建造物群」(Buddhist Monuments in the Horyu-ji Area)、日本国(奈良県生駒郡斑鳩町)、文化遺産、1993年登録、登録基準(i)(ii)(iv)(vi)になる。登録基準を表示するときローマ数字の小文字を用いる。

世界遺産に必要な「顕著な普遍的価値」とは、国家という枠組みを超え、人類全体にとって現在だけでなく将来世代にも共通した重要性を持つような、傑出した文化的な意義や自然的な価値を意味する。「顕著な普遍的価値」の評価基準として、登録基準が作業指針によって定められている。登録基準は(i)から(x)まであり、(i)から(vi)までを文化遺産に、(vii)から(x)までを自然遺産としている。

登録基準(i)は【人間の創造的資質を示す傑作】とされており、具体的内容は法隆寺・法起寺の残る木造建造物群で、最古のものは7世紀に遡る。これらの建造物はエンタシスや雲形(くもがた)の斗(ます)など優れた設計力と装飾美を併せ持っており、古代人の美的センスの高さを今に伝えている。その他の登録基準の説明は省略する。



法隆寺 夢殿

探訪コーナー

愛媛学習センター
放送大学埼玉同窓会
会長 森岡加代



JR松山駅から市電に乗り鉄砲町で下車、徒歩を含め約15分。愛媛大学総合メディアセンターの3階と4階が放送大学愛媛学習センターである。ここが5月9日と10日、中国・四国プロトコルの同窓会交流会が開催された。鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・高知・愛媛の9同窓会と連合会からの参加者24名が集まった。

第一日目は交流会に先立ち、公開講演会と論文発表会が行なわれた。森岡加代学習センター所長のご挨拶から始まった講演会は、「四国遍路の歴史と世界遺産への道」―空海と弘法大師の足跡―を題し、胡光(エベスヒカル)愛媛大学教授のお話であった。愛媛大学には四国遍路・世界の巡礼研究センターがある。古代から始まったといわれる四国遍路は「お接待」などを通して、地域の人々に支えられ、現在まで絶えることなく続き、いまや日本を代表する貴重な文化遺産となつていく。これを世界遺産にするための取組みや地道な研究、空海の足跡と弘法大師の誕生についてなど深いお話に時の経つのを忘れていた。

続いて、「再生可能エネルギーを利用した発電の研究」―太陽光・風力発電の研究から見てきたもの―というテーマで、稲谷吉彦さんによる論文発表があった。場所を移し各同窓会、連合会の情報交換が行なわれた。西川愛媛同窓会長の進行で、学友会との関係を中心に各同窓会から発表が行なわれた。学友会と同窓会の役割の違いを踏まえ積極的に活動している様子が伝えられた。愛媛同窓会も学習センターの充実した施設の中で「にぎたつ会」という学友会とうまく乗り入れながら運営されているように見える。発表や質問のやり取りは続き、尽きない話は次の懇親会

「放送大学 とともに歩んで 22年」

森中定治



私は選科履修生として、1994年に放送大学に入学しました。企業部門の学部長の経験から医薬学術のガン免疫担当に変わりました。ガン免疫は分子生物学そのものでした。チョウの研究が興味で生物学には深く関わっていました。分子生物学は全くの未知でDNA、ゲノム、遺伝子、染色体の区別もできませんでした。上司は本を読めというだけでした。これでは仕事を続ける事ができず辞めねばならなくなると思い、必死で策を考えた結果、学ぶ時間博士の学位を頂きました。蜂須賀正氏侯爵が設立した日本生物地理学会の会長に就任し、総説「チョウの生物学」(東京大学出版会)の「分子による系統研究」の章を執筆し、当時の丹保憲仁学長にお手紙を添えて1冊を放送大学本部図書館に寄贈しました。受講科目は分子生物学から生態学、細胞生物学、動物の進化、人間と自然、地球環境を考えるなど様々に広がり、現代経済学、金融論、経営学、現代の国際政治、公共哲学など社会科学にも広がりました。更に62歳から音楽を始め、初めて出場した音楽コンクールで入賞し、その関連で音楽・情報・脳を受講し、今年には舞台芸術への招待を受講しています。入学して22年、受講科目は血となり肉となりましたが、今の私があるのは最初に受講した「分子生物学」にあると感謝しています。

この事を思いつきました。これで仕事の継続が可能となり、職場で恥ずかしい思いをする事がなくなりました。更に当時の副学長の趣味がなんと「チョウの研究」でした。それで分子生物学の知識だけでなく、チョウの身体からDNAを取り出し、増幅したり、解読までできるようになりました。放送大学は、人生の大きな岐路で私を助けてくれました。

当時所属した愛知学習センターの田中健治先生、名古屋大学の宮田正先生と共著で書いた分子生物学によるチョウの系統論文が、分子系統研究では世界的な雑誌(Molecular phylogenetic & evolution)に掲載され、この論文を中心に今までの全研究をまとめて、2003年名古屋大学から博士の学位を頂きました。あると感謝しています。

「学生新聞」は埼玉学習センターの皆さまの投稿で作られています。今年度は各種のサロンの魅力や、参加された皆さんに紹介して頂きたいと考えています。積極的な投稿を期待しております。(冬)

俳句

トリツク館のカフェー暮遅し	八重子	イシユタルの翼の遺跡黄砂来る	十詩
遅き日の田楽能の足拍子	安代	暮遅し大地にもどる観覧車	明美
花色の空一朝の地には雪	保子	夜桜はやがて異界の出入口	由美
遅き日の語りいざなふ源氏香	とく江	蘇る追憶は空雪の果	規子
アトリエの窓の高さや春愁	光娥	(つみ草)	

生涯学習奨励賞金剛賞を受賞された2名の方にアンケートをお願いし、福田暉氏から回答を得た。

Q 放送大学に入学したきっかけは...

福田II 家庭の事情により、高校卒業で就職したので、大学の勉強をしたかったから。

Q 一番面白かった講義

福田II 面接授業の山口学習センター主催「歴史の宝庫(周防国衛一防府)」で、防府天満宮の話がよかった。

Q 記憶に残っている事

福田II 面接授業で、神奈川県川学習センターの夜の授業を受けた時、野田市から横浜まで片道約3時間かけて5回通ったこと。

Q 在学生へのアドバイス

福田II 「継続は力なり」。

江戸時代の古文書を読む会
5月16日 14時~16時
第1講義室

囲碁専科
5月26日(火)
13時~15時
第4講義室

放送大学熟年会
活動日は毎火曜日
毎月第2火曜日
毎月第1・3火曜日
午前初級、午後応用

健康体操研究会
活動日 毎週金曜日
午前中 8階講義室

埼玉同窓会
毎週火曜日(6月)
2日、9日、16日、23日、30日

編集後記
「学生新聞」は埼玉学習センターの皆さまの投稿で作られています。今年度は各種のサロンの魅力や、参加された皆さんに紹介して頂きたいと考えています。積極的な投稿を期待しております。(冬)

生涯学習奨励賞金剛賞

福田II 面接授業で、神奈川県川学習センターの夜の授業を受けた時、野田市から横浜まで片道約3時間かけて5回通ったこと。

Q 在学生へのアドバイス

福田II 「継続は力なり」。

サークル案内

6月3日(水)
* 東京国立博物館で「鳥獣戯画展」鑑賞
上野の東京文化会館ロビーに11時10分集合

7月9日(木)
* 秋の研修旅行案と後期活動計画案の検討
DVD鑑賞 10時半
第1講義室に集合

朗読の会「ハコ」
5月27日(水)
10時~12時 8階講義室
6月5日(金)・19日(金) 10時~14時
第1講義室

6月24日(水)
10時~12時 8階講義室

7月3日(金)